

Program

バルトーク: ヴァイオリン・ソナタ 第2番 Sz76

Bartók: Violin Sonata No.2, Sz76

武満 徹: 妖精の距離

Takemitsu: Distance de Féé

エルンスト: シューベルトの「魔王」による大奇想曲 op.26

Ernst: Grand Caprice on Schubert's Der Erlkönig, op.26

リスト(ミルシュタイン編曲): コンソレーション(慰め) 第3番 変ニ長調 S172-3

Liszt (arr. Milstein): Consolation No.3 in D flat major, S172-3

イザイ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第5番 ト長調 op.27-5

Ysaÿe: Sonata for violin solo No.5 in G major, op.27-5

ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 op.100

Brahms: Violin Sonata No.2 in A major, op.100

第7回仙台国際音楽コンクール
最高位受賞記念

Violin Recital

Shannon Lee

シャノン・リー ヴァイオリンリサイタル

(第7回仙台国際音楽コンクール ヴァイオリン部門最高位[第2位])

ピアノ: ジェシカ・オズボーン
Jessica Osborne, Piano

2021

10/7 木

19:00 開演(18:30 開場)

 浜離宮朝日ホール

Thursday, October 7, 2021 7:00 PM at Hamamatsucho Asahi Hall

2021年6月7日発売

入場料
(全席指定・税込)

一般 ¥3,000
ユース ¥1,000
(25歳未満)

プレイガイド

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00)

●チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/> (Pコード:195-038)

●ローソンチケット <http://l-tike.com/> (Lコード:32861) ●イープラス <http://eplus.jp/asahihall/>

※やむを得ない事情により、チケット発売日・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。※ユース券は朝日ホール・チケットセンターでのみ取扱い。※未就学の方の入場はご遠慮いただいています。託児サービスをご利用ください。イベント託児・マザーズ(要予約) 0120-788-222 ※公演の詳細・最新情報は仙台国際音楽コンクール公式ホームページでご確認ください。※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

[主催]仙台国際音楽コンクール組織委員会、仙台市、公益財団法人仙台市市民文化事業団、朝日新聞社／浜離宮朝日ホール

[助成]公益財団法人 ロームミュージック ファンデーション

©Justin Aranha

お問い合わせ

仙台国際音楽コンクール事務局 022-727-1872(平日9:30~17:00)

<https://simc.jp/>



Shannon Lee

Violin Recital

シャノン・リー ヴァイオリンリサイタル

セミファイナルで弾いたバルトークは素晴らしかった。
その新鮮さ、賢さはダンツでした。
自分にとって今、何が大切なを見極められる人だと感じました。

—— 第7回仙台国際音楽コンクール ヴァイオリン部門審査委員長 堀米 ゆず子

第7回仙台国際音楽コンクール ヴァイオリン部門最高位[第2位] シャノン・リー Shannon Lee

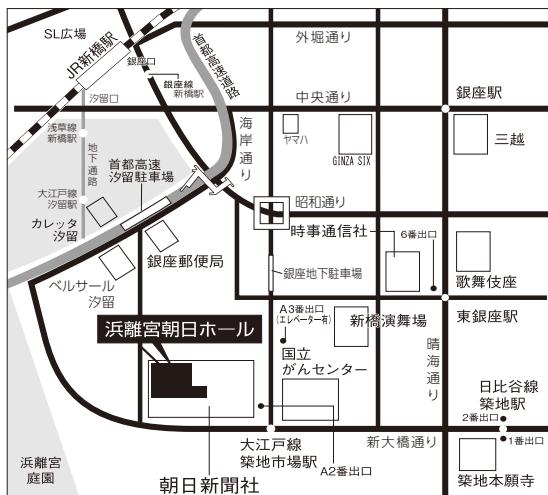


“非凡な煌めき、狂いがないピッチ、そして大きくよく響く音色” -グラモフォン誌-

第7回仙台国際音楽コンクール最高位(第2位)及び聴衆賞(2019年)、エリーザベト王妃国際音楽コンクール第4位(2019年)、ナウムバーグ国際ヴァイオリンコンクール第2位(2018年)、インディアナポリス国際ヴァイオリンコンクール入賞及びイザイのソナタのベストパフォーマンス賞(2018年)など、数々の国際コンクールで受賞。ハイフェツツ国際音楽祭、クシジョバ音楽祭、メンロー室内楽音楽祭、エンジェル・ファイア音楽祭、ノーフォーク室内楽祭等に、ソリストや室内楽奏者として出演。また、カナダのシルバ・ゲルバー財団から多大な支援を受けている。カナダ生まれ。4歳でヴァイオリンを始める。12歳の時ダラス交響楽団との共演でソリストデビュー。その後には、クリストフ・ブリック指揮、ニュルンベルク・フィルハーモニー管弦楽団との共演でヨーロッパデビュー。他にも、東京交響楽団、アントワープ交響楽団、ベルギー国立管弦楽団、カネギーホールにてニューヨーク弦楽合奏団と共に演奏。デビュー録音は19世紀と20世紀のヴァイオリンとピアノのための作品を収録したもので、グラモフォン誌は“自在なテクニックと大胆不敵な妙技”を称賛した。初代メアリー・ハムリン記念学長奨学生、またスターリング財団奨学生として、クリーヴランド音楽院でハイメ・ラード、ジャン・スローマンに師事。カーティス音楽院ではアイダ・カヴァフィアン、アーノルド・スタインハートに師事し、ディプロマを取得。コロンビア大学でコンピュータ科学の学士号も取得。

ピアノ ジェシカ・オズボーン Jessica Osborne, Piano

ワシントンナショナル交響楽団とのデビュー公演で、“清々しい豊かな響きと詩的なタッチ”を持つピアニスト(ワシントンポスト紙)と称賛される。ティモシー・エディ、ヒラリー・ハーン、マーク・コソワーラ世界の一流音楽家たちと共に演奏。カネギーホールやリンカーン・センター、ルーヴル美術館など、世界各地で行われるリサイタルに多数出演しているほか、テレビやラジオにも度々出演している。ソロでは、ファニー・メンデルスゾーン=ヘンゼルやグラジナ・バツエヴィチといった演奏機会の少ない作曲家の作品を取り上げるリサイタルを積極的に行っている。全米音楽指導者連盟コンクール第1位。バルトーク・カバレフスキイ・プロコフィエフ国際コンクール第1位。イマ・ホッグ・コンクール聴衆賞など、数々のコンクールで入賞。インディアナ大学、ライス大学で学び、イエール大学にて音楽博士号を取得。現在はニューヨークで後進の指導にもあたっている。



会場

浜離宮朝日ホール

東京都中央区築地5-3-2
[アクセス]都営大江戸線「築地市場駅」A2出口すぐ

第7回仙台国際音楽コンクール 最高位受賞記念リサイタル

チエ・ヒヨンロク ピアノリサイタル
[日時] 2021年9月7日(火) 19:00開演
[会場] 浜離宮朝日ホール

新型コロナウイルス感染拡大防止への ご協力のお願い

最新の詳しい情報は仙台国際音楽コンクール
公式ホームページにてご確認いただけます

- マスクの常時着用、咳工チケットの実践、入場時の手指消毒、検温へのご協力をお願いいたします。
- 検温37.5°C以上を検知された場合は入場をご遠慮いただきます。
- 出演者へのプレゼント、面会はお控えください。
- 感染防止対策実施のため、時間には余裕をもってご来場ください。

公演当日、以下に該当されるお客様は
ご来場をお控えください。

- 37.5°C以上の発熱がある方、または発熱が続いている方
- 咳、呼吸困難、咽頭痛、鼻汁・鼻詰、味覚・嗅覚障害、下痢、吐き気・嘔吐、全身倦怠感、頭痛、関節・筋肉痛などの症状がある方
- ご自身の体調に不安のある方
- PCR検査で陽性とされた方との濃厚接触がある方
- 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方

このチラシはリサイクルできます

第7回仙台国際音楽コンクール公式CD発売中!



第7回仙台国際音楽コンクール ピアノ部門

チエ・ヒヨンロク

- モーツアルト:ピアノ協奏曲 ト長調 K453
- チャイコフスキイ:ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23
[指揮] 広上淳一 「管弦楽」仙台フィルハーモニー管弦楽団
FOCD9825
2019年6月7日ファイナル[モーツアルト]
6月9日ガラ・コンサート[チャイコフスキイ]

第7回仙台国際音楽コンクール ヴァイオリン部門
最高位[第2位] シャノン・リー

- バルトーク:ヴァイオリン協奏曲 第2番 Sz112
- モーツアルト:ヴァイオリン協奏曲 二長調 K218
[指揮] 高闘 健 「管弦楽」仙台フィルハーモニー管弦楽団
FOCD9824
2019年6月22日セミファイナル[バルトーク]
6月29日ファイナル[モーツアルト]

[発売日] 2019年12月4日 [販売価格] 各2,640円(税込) [販売元] 株式会社フォンテック [取扱店] 全国CDショップ

[制作・お問い合わせ] 仙台市市民文化事業団音楽振興課 すべてライブ録音

SENDAI INTERNATIONAL MUSIC COMPETITION

2022年開催決定!
第8回仙台国際
音楽コンクール
The 8th Sendai International Music Competition

[ヴァイオリン部門] 2022年5月21日(土)~6月5日(日)
[ピアノ部門] 2022年6月11日(土)~6月26日(日)
[会場] 日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)

仙台国際音楽コンクールは、仙台市が2001年に創設し、3年ごとに開催しているヴァイオリンとピアノの2部門による国際コンクールです。これまでに、スヴェトリン・ルセフ、松山冴花、アリョーナ・バーエワ、有希マヌエラ・ヤンケなど世界で活躍する音楽家を多数輩出しています。協奏曲を課題曲の中心に据えていることが大きな特徴の仙台国際音楽コンクールは、若手音楽家の登竜門として、多くの注目と期待を集めています。<https://simc.jp/>

楽都
仙台